TECHNO ALPHA α
テクノアルファ株式会社

〒141-0031　東京都品川区西五反田二丁目27番4号
明治安田生命五反田ビル
TEL : 03-3492-7421（代表）　FAX : 03-3492-2580

社名の由来

1989年12月、エレクトロニクス機器の販売商社として誕生した当社は、当時から高度な専門知識とノウハウをもつ“技術者集団”（Techno-）を志向し、商社という枠を超えた“高付加価値”（＋α）を提供する存在となることを目指していました。「テクノ」と「アルファ」という2つの言葉を融合した社名には、そんな私たちの変わらぬ想いが込められています。

□ 当社ホームページのご案内

テクノアルファを皆様により深くご理解いただくために、当社ホームページでは取扱製品に関する詳細情報のほか、各種イベント・展示会への参加予定、注目の新製品情報などを掲載しています。
また、株主・投資家の皆様に向けた「IR 情報」には財務ハイライトや IR ライブラリーなどの決算情報や開示資料も掲載するとともに、IR に関するお問い合わせページなども設けています。
このホームページを皆様とのコミュニケーションツールとして機能させるために、今後も積極的に情報の充実を図っていきます。ぜひ、ご活用ください。

▶テクノアルファ ホームページ
http://www.technoalpha.co.jp/

テクノアルファ株式会社

Corporate Profile

会　社　案　内

TECHNO ALPHA α

パワー半導体と地球環境（省エネ・環境）のインターフェイスをめざす企業

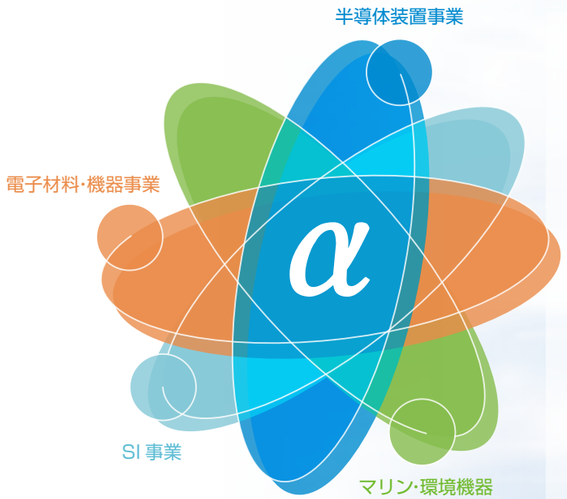
パワー半導体は、地球環境にやさしい製品の開発には必要不可欠な役割を担っています。エコカーと呼ばれるハイブリッド車や、エアコンや液晶テレビといった家電にも幅広く使用されて、日々の生活の様々な場面で活躍しています。
テクノアルファは、パワー半導体をはじめ、太陽電池、太陽光発電やLEDなど、これからの成長が期待される領域において、地球環境とのインターフェイスを常に考え、事業を展開しています。

パワー半導体

ハイブリッド車／
電気自動車

太陽電池／
太陽光発電

LED／
液体の濃縮・分離



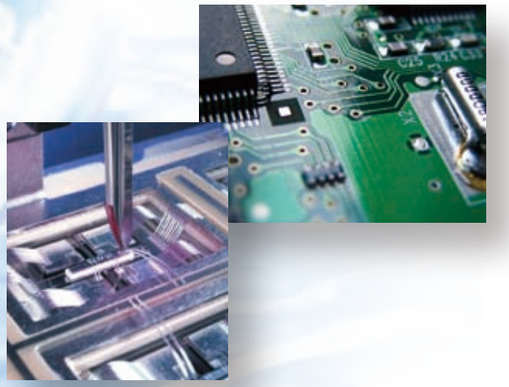
「市場開発力」と「商品供給力」という2つの強み

テクノアルファは、グローバルなネットワークによる「情報力」と「高度な技術ノウハウ」を融合させてお客様に最適な商品やサービスを提供する「市場開拓力」と、収集したお客様ニーズや技術動向を分析し仕入先メーカーと共有することで“市場”が求める商品を創りだす「商品供給力」という2つの強みをもっています。

すべてはお客様のために

社員の福利厚生の充実と顧客満足度の向上を
企業理念とする当社は、
世界各地から優れた技術や製品を日本へ輸入し、
また、日本の先端技術や製品を輸出することで、
常に世界とつながっています。

テクノアルファは、未来ある明日に向かって、
常にたゆまぬ努力を続けています。

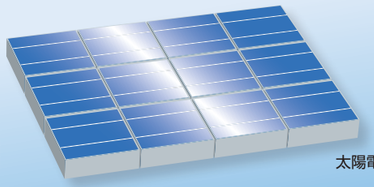


半導体装置事業

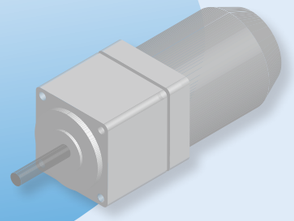
パワー半導体製造プロセスの後工程で使用される半導体製造装置について、海外メーカーとの販売代理店契約に基づき輸入し、国内の顧客に販売しているほか、顧客の要望に応じて自社で商品を開発し、協力工場に製造委託したうえで当社が販売する商品も取り扱っています。

薄型テレビ

エアコン



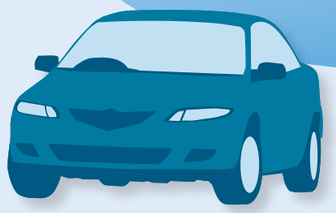
太陽電池



産業用モーター

パワー半導体の多様な用途

パワー半導体は、電力制御をおこなう半導体であり、エアコン、冷蔵庫等の大型家電や、変圧器、産業用のモーター、工作機械、鉄道車両等の産業用機器をはじめ、自動車にも多く使われています。



ハイブリッド車／電気自動車

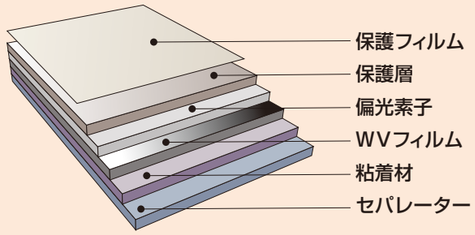
当事業では、主に、パワー半導体製造プロセスの後工程であるワイヤボンディングに用いる製造装置であるワイヤボンダー及びそれに付随する消耗品等を販売しています。さらに、お客様の要望に応じて、ワイヤボンダーに関連する搬送装置や検査装置も販売しています。

電子材料機器事業

エレクトロニクスメーカー向けの材料、大学・研究所等向けの研究開発用の小型の機器等を、また、子会社においては液晶関連の部品、材料及び装置等を仕入れ、販売しているほか、顧客の要望に応じて自社で商品を開発し、さらに大学との産学協同に取り組んでいます。

熱可塑性接着剤、水分ゲッター剤、ボンディングツール、成型はんだ、溶接用・リフローはんだ用微小電極、銅ワイヤ、水系洗浄液等の特色ある電子材料を取り扱っています。

2010年5月より、ドイツPiNK GmbH Thermosystemeとの間で、真空リフロー装置の販売代理店契約を結び、取扱を開始しました。展示会への出展など積極的な販売を展開しています。



液晶ディスプレイ関連の材料・機器を海外の主要なメーカーに販売しています。

マリン・環境機器事業

マリン事業においては、船舶用機器を国内メーカーから調達し、国内の造船所及び海上保安庁等に販売しています。環境機器事業においては、食品・化学・石油化学業界等における液体の分離・濃縮を目的とした装置等を、海外メーカーとの販売代理店契約に基づき輸入し、国内の顧客に販売しています。また、両事業とも、顧客の要望に応じて自社で商品を開発し、協力工場に製造委託したうえで当社が販売する商品も取り扱っています。

船舶用の救命艇を国内の造船所に、救命艇の昇降機構であるダビットを海上保安庁に販売しています。

液体の分離濃縮に特化した振動膜式フィルターを食品、化学、薬品メーカー等に、当社でエンジニアリングしたうえで販売しています。

液体の分離濃縮等に用いるセラミックフィルターを食品、薬品メーカー等に販売しています。

その他事業（開発）

当社は、既存の4事業のほかに、新商品の開発にも取り組んでいます。太陽電池特性評価システムやX線検査装置等の取扱に力を入れています。

太陽電池特性評価システム

X線検査装置

SI事業（システムインテグレーター）

2011年9月1日より連結子会社となった株式会社ペリテックが、主に自動車関連業界の顧客から計測・検査システムを受託し、自社でハードウェア技術とソフトウェア技術を融合した計測・検査システムに仕上げ、販売しています。

ECUテスター

EMIテスター

ごあいさつ

「メーカー機能を持った技術専門商社」としてハイクオリティなワンストップサービスをご提供しています。

代表取締役社長　**青島 勉**

テクノアルファ株式会社は、1989年12月、半導体装置、電子材料の輸入販売を行う専門商社として事業を開始しました。その後、2011年9月に株式会社ペリテックを子会社化して新たにSI事業を開始するなど、取扱商品や事業領域の拡大を経て、現在は、「メーカー機能を持った技術専門商社」として、半導体装置事業、電子材料・機器事業、マリン・環境事業、SI事業という4つの事業を展開しています。当社は2007年10月に大阪証券取引所ヘラクレス市場へ株式を上場、2010年10月からはジャスダック市場へと変更となっています。

当社では、ひとりの営業技術スタッフが、顧客への営業から販売、アフターサービスまでを行うワンストップサービス体制により、他社に比類ないハイクオリティな顧客サービスを提供しています。

創業以来、当社の主力事業は半導体装置事業ですが、パワー半導体製造装置・材料の分野では常に高い市場シェアを誇っています。パワー半導体への需要は、昨今の経済不況下でも、ハイブリッド車に代表されるいわゆるエコカーの生産増やエコ家電への買い替え需要などにより、一時的な停滞を除いて、引き続き伸張しており、今後も市場の成長が期待されています。

当社では、2011年も新たな取扱製品の拡大に積極的に取り組みました。半導体装置事業においては、2011年1月、スイスDR. TRESKY AGと販売代理店契約を締結し、マニュアルダイボンダー／マニュアルフリップチップボンダーの販売を開始しました。また、電子材料・機器事業において、2011年3月、ドイツPlan Optik AGと販売代理店契約を締結してガラス基板の販売を始めました。

マリン・環境機器事業については、マリン事業において、新たに海外より巡視船に搭載する昇降装置ミランダを受注したほか、引き続き、省エネやエコといった観点からもインパクトのある商品として船舶用LED照明の販売にも力を入れています。環境機器事業では、2002年より販売している振動膜式ろ過分離濃縮装置へ高いご評価をいただいており、食品業界をはじめとしてさらなる展開が期待されます。

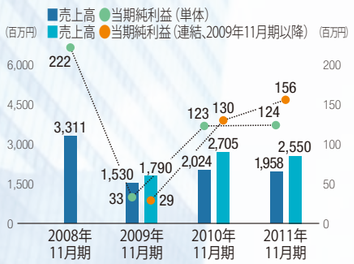
当社は、コムテックの子会社化（2009年5月。同社は2011年12月に吸収合併）により、一企業から企業グループの核へと進化し、グループとしての成長も続けていますが、今後もメーカー機能の充実や自社ブランドの拡充を早期に成し遂げるため、積極的なM&Aを視野に入れる一方、引き続き、産学協同、自社ブランド製品の開発や展示会への出展を積極的に進めています。

当社では、電気自動車やハイブリッド車、鉄道車両、省エネ家電、太陽光発電などに広く使用されるパワー半導体と地球環境のインターフェイス企業として、今後も成長発展を目指してまいります。

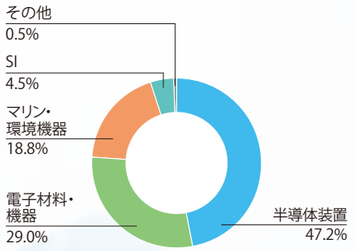
このたび、経営体制の一層の強化ならびにさらなる事業拡大と発展のため、また、経営トップの若返りを図るため、2012年1月4日付で青島勉が代表取締役社長に就任しました。なお、前代表取締役社長の松村勝正は取締役会長として、社長をサポートしてまいります。

今後ともさらなるご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

売上高・当期純利益



売上高の事業別構成比

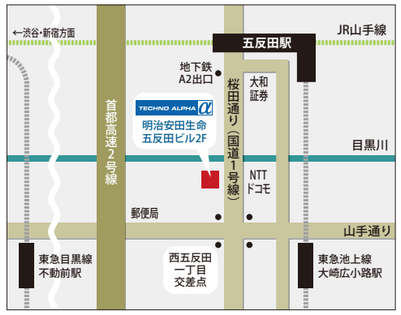


会社概要／沿革

□ 会社概要（2012年2月28日現在）

設立	1989年12月
代表者	代表取締役社長　青島　勉
資本金	100,210千円
従業員数	（単体）35名　（連結）62名
株主	松村勝正ほか取締役、みずほキャピタル株式会社、従業員持株会等
主要取引銀行	みずほ銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行
主な事業内容	半導体装置、電子材料・機器、マリン・環境機器の仕入・販売等
所在地	本社：東京都品川区西五反田二丁目27番4号 明治安田生命五反田ビル 名古屋テクニカル・サービスセンター：愛知県刈谷市東刈谷三丁目9番3号　大脇ビル
上場市場	大阪証券取引所　ジャスダック
証券コード	3089
ホームページ	http://www.technoalpha.co.jp/

□ アクセスマップ



本社（東京・五反田）へのアクセス

- JR山手・都営浅草・東急池上線五反田駅より徒歩3分（地下鉄の場合、A2出口が便利です）
- 東急池上線大崎広小路駅より徒歩5分
- 東急目黒線不動前駅より徒歩12分

※ビルに“明治安田生命”の大きな看板があります。

□ 沿革

年月		
1989年	12月	半導体装置、電子材料の輸入販売及びバネ機械の輸出を目的として、テクノアルファ株式会社を東京都港区に設立
1990年	1月	アメリカOrthodyne Electronics Corporation（現 Kulicke & Soffa）とウェッジワイヤボンダーの販売代理店契約を締結
1995年	11月	本社を東京都品川区西五反田2丁目27番（現在地）に移転
1997年	8月	アメリカDeweyl Tool Company, Inc.と販売代理店契約を締結し、ワイヤボンダー用のツールの販売を開始
1998年	12月	インチケープ・マシナリー社より救命艇（株式会社ニシエフ製）、ダビット（救命艇の昇降機構）の販売部門の営業譲渡を受ける
2000年	10月	アメリカAdvanced Integrated Technologies, Inc.と販売代理店契約を締結し、電極の販売を開始
2001年	12月	本社内に半導体製造装置、電子材料に関する顧客向けデモンストレーション・トレーニングを目的とした接合技術センターを開設
2002年	5月	半導体装置のアフターサービス強化のため、愛知県刈谷市に名古屋テクニカル・サービスセンターを設置
2002年	10月	アメリカNew Logic Research, Inc.と日本における振動膜式フィルターの販売代理店契約を締結
	10月	国立大学法人静岡大学との産学協同により、マイクロ波プラズマ処理装置の製品化を開始
2004年	9月	自社ブランド卓上型フリップチップ＆ダイボンダーの販売を開始
2005年	1月	フランスTAMI Industries SAと販売代理店契約を締結しセラミック膜の販売を開始
	11月	ドイツDiener Electronic GmbHと販売代理店契約を締結し、プラズマ処理装置の販売を開始
2007年	10月	大阪証券取引所　ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」に上場
2009年	5月	株式会社コムテックを子会社化
2010年	10月	大阪証券取引所JASDAQ市場（グロース）に上場
	11月	ドイツPiNK GmbH Thermosystemeと販売代理店契約を締結し、鉛フリー対応真空リフローハンダ付け装置の販売を開始
2011年	1月	スイスDR. TRESKY AGと販売代理店契約を締結し、マニュアルダイボンダー／マニュアルフリップチップボンダーの販売を開始
	3月	ドイツPlan Optik AGと販売代理店契約を締結し、ガラス基板の販売を開始
	5月	大阪証券取引所JASDAQ市場（スタンダード）に上場区分を変更
	9月	株式会社ペリテックを子会社化
	12月	株式会社コムテックを吸収合併